

平成27年度B日程  
学力検査問題

①

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて6ページで、問題は□から□まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に  
受検番号を書きなさい。
- 5 答えはすべて解答用紙の指定された欄に書きなさい。

受 検 番 号

受 検 番 号

□ 次の(一)～(四)の問いに答えなさい。

(一) 次の1～3の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- 1 有名な芸術作品を模倣する。                      2 仕事の負担を軽減する。
- 3 成功までに多くの時間を費やす。

(二) 次の1～3の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- 1 民族のデントウを受け継ぐ。                      2 式典で校歌をエンソウする。
- 3 優勝して注目をアびる。

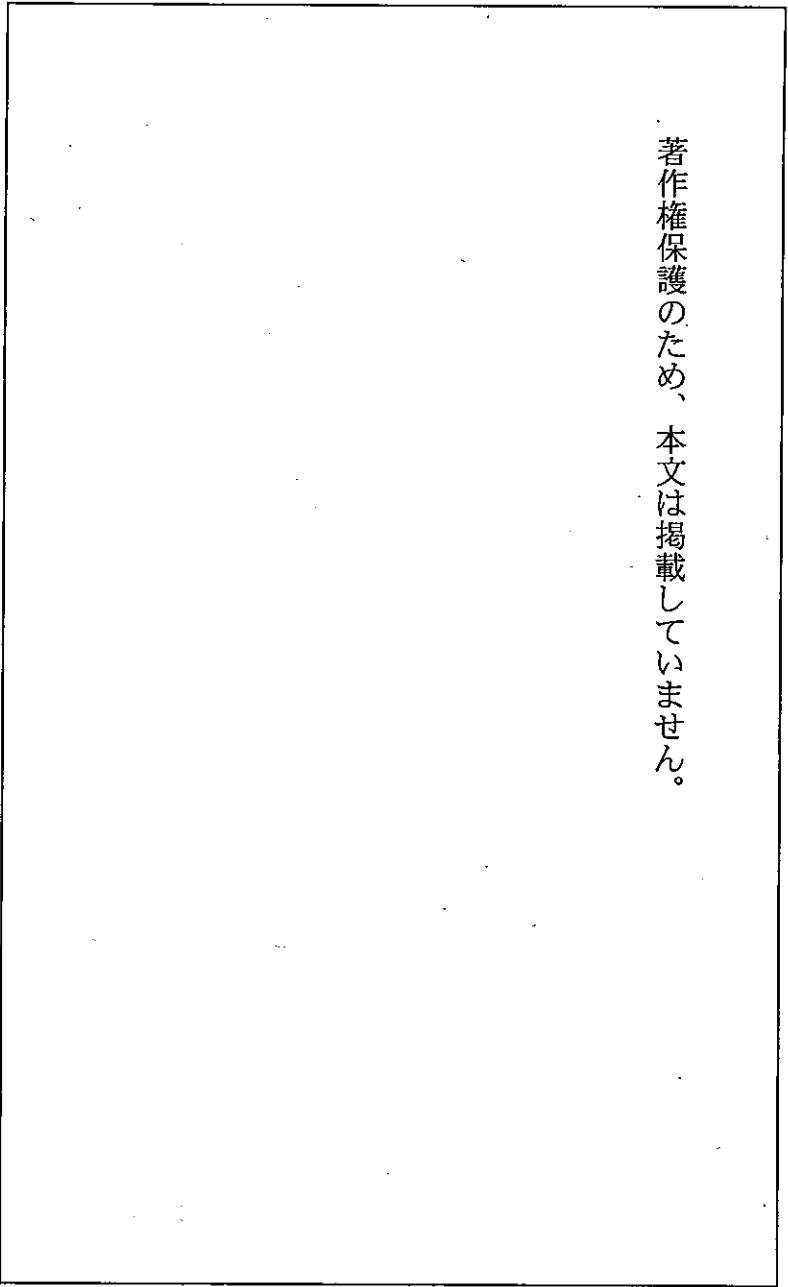
(三) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書くとき、総画数が同じ漢字を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

技

ア 灯                      イ 並                      ウ 我                      エ 布

(四) 次の文章を読み、後の1〜4の問いに答えよ。

著作権保護のため、本文は掲載していません。



1 文章中の——線部1の「二月といえば梅が咲く時期です」を、単語に区切ったとき、助詞はいくつあるか。数字で書け。

2 文章中の——線部2の「経緯」は、ここではどのような意味で使われているか。その意味として最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、その記号を書け。

ア ありさま      イ はたらき      ウ ならわし      エ いきさつ

3 文章中の——線部3の「や」のような語を、俳句において何というか。次のア〜エから一つ選び、その記号を書け。

ア 切れ字      イ 発句      ウ 枕詞まくらことば      エ 季語

4 文章中の  に当てはまる言葉として適切なものを、文章中から六字でそのまま抜き出して書け。

三 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

著作権保護のため、本文は掲載していません。

著作権保護のため、本文は掲載していません。

(一) 文章中の  に当てはまる言葉として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 驚き

イ 貧しさ

ウ 悲しみ

エ 窮屈さ

(二) 文章中の——線部に「現代は、そういう意味での『顔』が、たんなる顔面にうーんと収縮してしまっている時代だと思います」とあるが、筆者はここでどういうことを述べているか。その内容を、「本来の顔は……であるのに、現代は……ということ。」「の形になるように、五十字以上七十字以内で書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

(三) 文章中の——線部2に「メイクにも、同じことが言えると思います」とあるが、筆者は「メイク」についてどのように考えているか。その説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 今のメイクは、そのひとが過ごしてきた時間を凍結して若く見せることを目的としたものになっていくが、そのひとの顔面の魅力を最大限に引き出し、だからかも「美しい顔」だと思われるような、一人一人に応じたメイクがあってもよいと考えている。

イ 今のメイクは、そのひとが過ごしてきた時間を加工して上手に年齢を表現することを目的としたものになっていくが、そのひとの身体の表情も含め、年齢を重ねてもいつまでも若々しく、周囲の尊敬を得られるようにするメイクがあってもよいと考えている。

ウ 今のメイクは、そのひとが過ごしてきた時間を消去して感じさせないようにすることを目的としたものになっていくが、そのひとの人生の時間やさまざまな思いなどが現れ出るような、そのひとらしい顔が表現されるメイクがあってもよいと考えている。

エ 今のメイクは、そのひとが過ごしてきた時間を抹消して向き合わせないようにすることを目指すものになっていくが、そのひとの過ぎ去った出来事を振り返り、時間に対するもだえや悲しみなどをいやすようなメイクがあってもよいと考えている。

(四) 文章中の——線部に「のっぴきならない、顔と顔の対面」とあるが、現代の社会は「のっぴきならない、顔と顔の対面」がどのような状況にあり、それについて、あなたはどのように考えるか。次の条件1～3にしたがって書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件1 全体を六十字以上八十字以内にまとめること。

条件2 解答は「現代の社会は」で書き始めること。

条件3 文章の内容をふまえながら、自分の考えを具体的に書くこと。

③ 次の文章を読み、後の(一)～(三)の問いに答えなさい。

すべて、蜂は短小の虫なれども、仁智の心ありといへり。

されば、京極太政大臣宗輔公は、蜂をいくらともなく飼ひ給ひて、「なに丸」「か丸」と名を付けて、呼び給ひければ、召しにしたがひて、恪勤者などを勘当し給ひけるには、「なに丸、なにがし刺して来」とのたまひければ、そのままにぞ振る舞ひける。

出仕の時は車のうらうへの物見に、はらめきけるを、「とまれ」とのたまひければ、けり。世には蜂飼ひの大臣とぞ申しける。不思議の徳、おはしける人なり。

〔十訓抄〕による

(注) 京極太政大臣宗輔公…藤原宗輔のこと。

「なに丸」「か丸」：「なんとか丸」「かんとか丸」。

恪勤者…貴族の家に仕える侍。 勘当…しかること。

なにがし…だれそれ。 出仕…勤めに出ること。

車のうらうへの物見…牛車の両側の窓。

はらめきけるを…ぶんぶん飛び回っているのを。

(一) 文章中の——線部の「いへり」を現代仮名遣いに直して、——線部全部をひらがなで書け。  
(二) 文章中のに当てはまる言葉を、文章中のまでにある動詞を適切な形に変化させて、ひらがな三字で書け。

(三) この文章で述べられている内容の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 自分の家来として、蜂たちを一匹一匹厳しく管理していた宗輔公と、その命令に従わざるをえない蜂たちの姿をあげて、宗輔公の行いに対する疑問を述べている。

イ 名前を付け、たくさんの蜂を飼っていた宗輔公と、宗輔公につき従い、命令の通りに行動する蜂たちの姿をあげて、宗輔公の力に対する驚きを述べている。

ウ 小さな虫である蜂を自分の代わりに働かせていた宗輔公と、いつか仕返しをしようと思いをうかがう蜂たちの姿をあげて、蜂に対する同情の思いを述べている。

エ 人々が不思議がるほど蜂を大切にした宗輔公と、宗輔公にそむく者をすすんでこらしめに行く蜂たちの姿をあげて、両者のつながりの深さに対する感動を述べている。